

ΚΟΣΜΟΣ

図書館引き出し帳

初級編

Triton-OPAC

No.120 1998 冬

巻頭・エッセイ	1
貴重書を訪ねて	2
研究室の窓	3
図書館紀行	4
図書館引き出し帳	5
カウンター発9時	9
図書館アラカルト	10

巻頭エッセイ

ヴェニスとヒンディー語

橋本 泰元

ヴェニス और हिंदी

ताइगेन हाशिमोतो

इस गर्मी की छुट्टियों में मुझे यूरोप भ्रमण का पहला अवसर मिला। नव्य भारतीय आर्य-भाषाओं एवं संस्कृतियों पर ७वें अंतर्राष्ट्रीय सम्मेलन का इटली के वेनिस विश्वविद्यालय में आयोजन हुआ। इसी में मैंने भाग लिया। १९७९ में स्थापित होकर यह सम्मेलन हर तीन साल में आयोजित किया जाता है और इसमें अधिकांशतः यूरोप-अमरीका के विद्वान तथा भारतीय विद्वान भाग लेते हैं। दुनिया भर में प्राचीन भारतीय दर्शनों एवं विद्याओं के अध्ययन बहुत उन्नति पर हैं, इसीलिए पठक गर्वों का इस "नव्य भारतीय आर्य-भाषा" शब्द से अपरिचित होना एक तरह से स्वाभाविक बात होगी। यह सत्य है कि संस्कृत बहुभाषी-बहुजातीय समाज के भारतीय उपमहाद्वीप में १८ वीं शताब्दी तक हिंदुओं के धार्मिक, दार्शनिक तथा साहित्यिक कृतियों की मुख्य माध्यम भाषा रही थी। लेकिन हमें यह जानना चाहिए कि १०-१३ वीं शताब्दियों में उत्तर भारत के अनेक क्षेत्रों में जातीय भाषाएँ अपनी जातीय विशेषता और लोगों की आकांक्षा को अभिव्यक्त करके दृढ़ कदम आगे बढ़ने लगी थी।

अपने विश्वविद्यालय के कठोर भाषिक अभ्यास के दिनों में मैंने अनेक प्रकार की हिंदी पुस्तकें पढ़ी थीं। उनमें से ऐसी महत्त्वपूर्ण पुस्तक है जो अभी भी मेरे अध्ययन का आधार बनी रहती है। वह है, हिंदी साहित्य के महान इतिहासकार हज़ारीप्रसाद द्विवेदी (१९०७-७९) के लिखित "हिंदी साहित्य की भूमिका" (जापानी अनुवाद का शीर्षक "भारत-भूमि का संकीर्तन")। यह पुस्तक सर्वप्राचीन वेदों से लेकर १९४० दशकों तक के भारतीय साहित्यों, मान्यताओं तथा संस्कृतियों की विशाल धार को विहंगमावलोकित करके दिखाती हुई व्याख्याओं का संग्रह है। इस लेखक की अविरल और सुलझी हुई व्याख्याओं से मुझे अभी भी अनेक शिक्षाएँ मिल रही हैं। मैंने पाया है कि इस बार की गोष्ठियाँ इस पुस्तक की दर्शाई हुई ओर इसके विषय-वस्तुओं को विकसित और समृद्ध करती हैं। ये गोष्ठियाँ सुनते सुनते मुझे एक तरह की सांत्वना महसूस हुई।

सम्मेलन की माध्यम भाषा तो अंग्रेज़ी ही थी, पर प्रीति-भोज के समय लोगों के बीच वाग्विवाद हिंदी उड़ रही थी, जिससे मैं हल्के-से हँस में पढ़ गया कि अब मैं भारत में हूँ। संकरी गलियों से गुज़रकर सामने खुले वेनिस के महानहर के दृश्य ने हिंदुओं के तीर्थस्थल वाग्गणनी के गंगा-घाट की याद दिला दी। यूरोप की प्राचीन नगरी वेनिस के साथ अकथनीय गृहादुरता भी महसूस हुई।

【要約】

近代インド・アリア諸語に関する第7回世界大会がイタリアのヴェニス大学で開催され、それに参加するために私は、この夏初めてヨーロッパを訪れる機会を得た。サンスクリット語や古典インド哲学の研究は世界中で盛んなのであるが、10~13世紀ころ北インドの各地で、各民族の独自性と民衆の声を反映する近代インド・アリア諸語が発展し今日に至るまで膨大な量の文学的・宗教的作品を産んできたことは、あまり知られていない。この会議は、この民族語の言語・文学・文化研究が目的で、発表の多くは、私が学生時代から多大な教養を得ているH. ドゥヴィヴェーディー著『インド・大地の讃歌』を基に発展させたものであった。会議後の会食では機知に富むヒンディー語が飛び交い、私はヒन्दウー教徒の古えの聖都ワラーナसीーにいるような錯覚を覚えた。



(はしもと・たいげん 文学部印度哲学科 助教授)

John Ray :

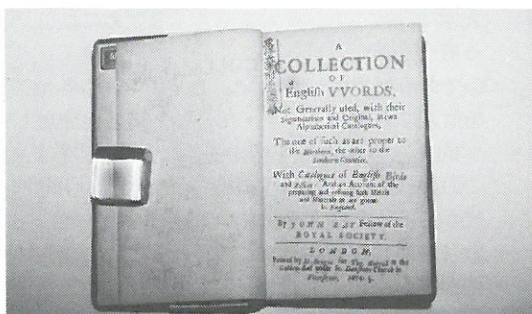
A Collection of English Words, Not Generally used...

理 橋 勇 三

A Collection of English Words, Not Generally used で始まる随分長い題名のこの本は1674年にロンドンで出版されました。著者はJohn Ray (1627? -1705) と言います。彼の生まれは英国のエセックスで、ケンブリッジ大学の卒業であり、ヘブライ語、ラテン語、ギリシャ語などの語学にかなり堪能な人でしたが、後々まで彼の名前が知られることになったのは博物学者 (naturalist) としての業績です。動植物の新種の発見に努めながら、博物学における分類体系の基礎を築きリンネへの道を開いた人として、あるいはまた、the father of natural history として知られています。彼は新種を求めてよく旅に出かけたのですが、土地の人々の使っている言葉 (方言) がよくわからないことが度々ありました。そこで、草花の新種を集めるようにして方言を拾い集めて、出来上がったのが A Collection of English Words です。彼にとっては動植物の新種を探すのも言葉の新種を探すのも根を同じくする営みであったと思われる。本書に集められている英語は英国の北部、南部、東部に見られる方言で、辞書風にabc順に分類して解説が施されています。たとえば、Agate については、「just going の意味で、I am Agate. のように使う。北部方言では Gate は a way の意味で、Agate は at or upon the way のこと」のように説明がされています。本書は200ページに満たないポケット版の本ですが、方言を扱っているのは全体の3分の1に過ぎず、残りの部分は主に博物学に関する内容になっています。Rayが牧師をしていたときの知己に Francis Willughby という人がいました。この人も博物学の人で、特に動物に関して強い関心を持っていました。新種

の発見のためにオランダ、ドイツ、スイスなどの大陸諸国を共に訪れて3年を過ごしたこともあり。ところが、1672年にWillughbyが死去したために、彼の子供の教育と彼が残した観察記録をRayが整理することになりました。本書の「方言」の後に続く「鳥類 (A Catalogue of English Birds)」と「魚類 (A Catalogue of Fishes)」の章は Willughbyの観察記録を整理したものが含まれていて、共著のようなものであるとRay自身は言っています。「鳥類」、「魚類」に関しても方言と同じようにcatalogueで、abc順に並べてあります。特に鳥類にはラテン語の学名が詳しく書かれています。「鳥類」、「魚類」のあとには塩の作り方、銀、鉄、鉛丹などの精製術に関する章が続きます。本書に言葉、鳥、魚、塩、鉄などが混在していて調和がとれないように思えますが、博物学者としての彼の立場を思うとき、特段、奇異なことではない気がします。英語学関係においてはJohn Rayの名前は本書の著者として英語史の詳細な年表にわずかに顔をのぞかせるくらいです。

(うずはし・ゆうぞう 文学部英米文学科 教授)



「戒石銘」のこと



小池 喜明

20年勤続で大学が褒美をくれるという。これも愚者の一得と、いそいそと参上した。時計かカメラか旅行券のうちから選ぶ由。時計は学生時代のがまだ動くし、カメラは先年、念願のコンタックスG1を購入したから、旅行券にする。2名で1泊2日分というから、遠方は無理。未だ機会を得なかった三春、二本松へ行く。

郡山からバスで入る三春は秋田氏五萬石の閑雅な城下町で、三春の名は梅・桜・桃が同時に咲くことに因む。春・秋の美しさにかねてから魅かれていた。だが昨年(1997)の2月15日、藩主ゆかりの高乾院の庭は残雪で斑によごれ、泥濘に難儀した。もちろん眞照院のミズバショウにも早すぎた。

翌日、二本松に向かう。駅前でのったタクシーの運転手は、40年配の五分刈り頭で一寸こわそうである。伊達政宗に滅ぼされた戦国期畠山氏の霧ヶ城、寛永20年(1643)入部の丹羽氏十萬石の霞ヶ城、2つの城址からなる公園は壮大で、桜・躑躅・藤の季節の美しさのほどが偲ばれる。天守跡からは、智恵子がうたった安達太良山や阿武隈川が一望される。なるほど、ここには空がある。いまやすっかり親しくなった運転手の三瓶さんが、あそこに見えるのが智恵子の生家と、これまた智恵子調で指さしてくれる。

こちらの職業に察しをつけたか、オモシロイものをお見せします、どいって大手門脇へ案内された。「戒石銘」と刻した大石がある。郷土の誇りについて語る彼の口調には淀みがない(他の場合には少しある)彼はこちらがなにをいっても、いつでも「ハイ、ハイ」と返事をする。その彼が一度だけ「イエ、イエ」と応じたことがあると、笑いながら家内がいう。私が、「三瓶さんは博学だなあ」といったときだそうだ。女性の視線には端倪すべからざるものがある。私はつねにこの視線

にさらされている。他山の石(これぞ戒石)諸賢も心せられたい。

近世中期、諸藩の経済は極度に悪化し、幕府が法令を以て強訴を禁ずるまでにいたったその1年前、寛延2年(1749)、襲封4年目の六代藩主丹羽高庸は儒臣岩井田昨非をして下記の文言を選定、これを大石に刻せしめ、大手門脇に据えた。登城する藩士全員が、朝夕、この碑文を目にすることになる。七代將軍家重の世、田沼意次の時代のことである。

なんじのほうなんじのろくは	たみのこうたみのし
爾俸爾禄	民膏民脂
かみんしいたげやすく	じょうてんあざむきがたし
下民易虐	上天難欺

「戒石銘」設立の十年後、米沢藩上杉家では高鍋藩主秋月種美の次男(9歳)を養子とした。7年後元服、將軍家治から一字を賜わり治憲と名のり、翌年襲封。上杉鷹山である。17歳での藩主就任に際し、「受けつぎて国の司の身となれば忘るまじきは民の父母」と詠んだこの多感な藩主が、のちに子息への戒めとした「伝国の辞」は周知されている。だが、戊辰戦争における白虎隊に比して二本松少年隊の悲劇を語る人が少ないように、「伝国の辞」に比して「戒石銘」について顕彰する人の少ないことは、いささかならず公平さに欠ける憾みなしとはしない。

二本松駅前には、今日も三瓶さんが居るはずである。

(こいけ・よしあき 文学部教養課程人文分野 教授)





大宅壮一文庫



文責 ● 宮本英行

大宅文庫の開館は1971年5月。ジャーナリスト、評論家の大宅壮一氏(1990~1970)の死後のことである。氏が蔵書について「日本のマスコミ界全体に還元したい」という趣旨の遺言を残し、様々な検討の結果、財団法人を設立して文庫化することになった。

当初は少なかった利用者也、1975年のロッキード事件を境に急増した。関与していた人物や団体の事件前の怪しい噂、エピソードを雑誌記事から取材するため、評論家の立花隆氏が執筆にあたってはこの文庫を頻繁に利用し、膨大な数のコピーをとったと言われている。

大宅氏は助手が資料の出納を10分以内にできないと御機嫌斜めになったそうだが、現在でも資料の出納は素早く、およそ5分前後で出てくる。また独自の索引方式も氏のアイデアによるものである。氏は蔵書だけでなく、このようなところにも大きな財産を遺していったと言えるであろう。

コンクリートの2階建て、全体としてこじんまりとした建物である。1階ロビー横の索引閲覧室には、1992~1996年分データCD-ROM端末が3台、1990年以降のデータのオンライン端末が5台、『大宅壮一文庫雑誌記事索引総目録』が設置されている。

オンライン端末画面には①人名②件名③キーワード④雑誌別⑤発言者別の5種類の記事検索法が表示されている。CD-ROM端末はOSがWindows95、マウスで画面操作ができる。画面には①フリーワード②執筆者・発言者③発行日(年・月・日で範囲指定が可能)等の検索項目があり、雑誌ジャンル(一般週刊誌、女性週刊誌等)、記事種類(グラビア、インタビュー、対談等)等の項目は利用者が選択して検索する。

オンライン端末の方が、データ量の点では有利だが、画面操作性では①キーワードや発言者が前方一致(最初の何文字かが同じものを探すこと)で検索できない②オンライン雑誌名がカタカナでしか入力できない③マウスによる画面操作ができない、という欠点がある。

両者とも共通するのは画面の印刷ができないこと、と言うより、そもそもプリンタが見当たらないのだ。ここでは検索結果を一旦印刷して取っておく、という行為はそぐわないのだ。利用者は画面にデータが表示されると、閲覧請求用紙に必要事項を書き入れる。それを2階の図書閲覧室の受付に提出すると、数分で請求した雑誌が届く。

さすがに資料の保全には気を遣っている、と感心したの

は表紙をビニールでコーティングしていること。重さが違うように感じるのは気のせいだろう。

最後に来館する人へ忠告。CD-ROM端末は検索履歴(どんな言葉でどんな検索をしたか)が残る。プライバシー保護を考えるなら、これは消すことをお勧めする。

【利用案内】

入館料&閲覧冊数：1回500円で10冊迄。更に閲覧したい場合は再度入館手続をするか会員になることが必要。

1日の閲覧冊数の上限は50冊迄。会員は100冊迄。

会費費：維持会員(1年間有効)…1口1,000円で15口以上。特典：電話による複写申込みが可

半年会員…1口1,000円で10口

代行検索…1988年~最新刊迄、申込書に記入して受付に出すだけ。1検索100件迄(A4で10枚)。このプリントは現在のところは無料(7月26日現在)。但し、退館の際には返却しなくてはならず、持出す場合は1枚につき525円(税込)必要。

複写：白黒A4~A3…170円

カラーA4…400円 B4…600円 A3…800円

上記の料金に消費税がかかります。(消費税1円未満は切り捨て)

書籍閲覧：1997年11月20日をもち書籍約7万冊を埼玉県にある越生分館へ移転。『大宅壮一文庫雑誌記事索引総目録』(1985年)収録の索引のうち書籍とあるものについては予約の後、取り寄せとなるため数日かかる。(みやもと・ひでゆき 図書事務課主任)

アクセス

住所 世田谷区八幡山3-10-20
 電話 03(3303)2000
 交通 京王線八幡山駅 徒歩8分
 開館日 月~土曜日
 時間 10:00~18:00
 休館日 日曜・祝日
 利用資格 特になし
 料金 本文利用案内参照
 複写 可(本文利用案内参照)
 貸出 不可
 レファレンス 資料に関しては可





Triton-OPAC

— マニュアルだけじゃ、わからない!? —

▶ 図書館のOPACを使ったことがありますか？

「あるけれども、使い方がよく分からない」「うまく検索できない」「マニュアルだけでは分からない」などで、ついつい直接本棚に探しにいませんか。

そんなあなたのための『OPAC初級編』です。マニュアルに載っていても分かりにくいことや、検索の仕方、結果の見方などが中心です。

マニュアルを読んだことがある、もしくは、マニュアルが手元にあることを前提としています。マニュアルP.★参照」となっている場合は、マニュアルを見てください。マニュアルはOPACのそばにあります。

I. OPACで、何ができるの？

実際の操作の説明に入る前に、OPACで何ができ、何ができないのかを知っておきましょう。

できること

- ・東洋大学の図書館（4キャンパス）に自分の探している図書や雑誌が所蔵されているかどうか調べる。（雑誌は所蔵しているもの全て。図書は一部未入力のもの有り→下記「遡及状況」参照）
- ・求める図書が貸出中かどうかわかる。
- ・書誌＝本の詳細（著者名・出版社・形態etc.）がわかる。
- ・書名や著者名があいまいでも、本を探すことができる。

できないこと

- ・東洋大学以外の機関の所蔵はわからない。
- ・図書や雑誌の内容（例：目次、収録論文etc.）はわからない。
- ・叢書に収録されている内容を一覧することはできない。
- ・サンスクリット文献や漢籍など、特殊言語（文字）の図書のうち一部のものは検索できない。
→「遡及入力状況」を参照。

☆ 遡及入力状況は？

遡及入力とは、コンピュータ導入以前に受け入れた本のデータを、さかのぼって入力する作業のことです。

現在東洋大学には、図書約98万冊、雑誌約1700タイトルの蔵書があります。この内遡及されていない図書は、約20万冊弱となっています。日々データを追加入力していますが、特殊文字を使用している図書については、文字の入力の問題も有り、遡及しきれないのが現状です。それらの図書を探す場合は、OPACで見つからないからといってあきらめずに、カード目録を使って探してください。

《入力状況》	雑誌	全て入力済	特殊文字等	サンスクリット語・パーリ語・ハン
	新着図書	〃		グル文字・アラビア文字明治以前
	1990年以降受入図書	〃		の和古書・漢籍・仏典などの一部
	1989年以前受入図書	一部入力済		

図書館引き出し帳

II. 日本語入力と変換について

日本語入力 日本語入力については、マニュアルのP. 3～P. 5に載っていますので、それを参考にしてください。それ以外で「わかりにくいかな?」と思われる2点についてここで触れておきます。

1. 「ローマ字入力」から日本語に変換できない!

画面の右下の表示が「A連R漢」になっていませんか。 **無変換** キーを押すと「あ連R漢」に変わります。これで変換できます。

2. 一度「ローマ字入力」にしたのに、どうしてまた「英数入力」になるの!

送信すると、「英数入力」に戻ってしまうのです。もう一度おなじ手順を繰り返してください。

変換 詳しくは、マニュアルのP. 5を参照してください。ここでは、漢字変換と半角カタカナ変換についてのみ述べておきます。

1. 漢字変換……①日本語入力して中央手前 **変換** キーを押す。

②言葉の区切りが違う場合は、**←** **→** キーで調整する。

* 漢字変換しにくいとの指摘もありますが、現在改善中です。1語～2語ずつ区切って入力・変換するなどして対応してください。

2. 半角カタカナに変換……日本語入力して **F 8** キーを押すだけ。

どちらも確定は **ENTER** キーです。

III. 検索について

各項目についての説明、また、入力の規則については、マニュアルのP. 6～P. 9を参照してください。ここでは、キーワードで検索するときの検索語の設定の仕方について述べます。

キーワード検索って?

書名や著者名(の一部)が分かっている場合と違い、大まかな、「分野」や「主題」で本を探す場合に役に立ちます。例えばレポートが出たとします。書名の欄に関係する語を入れて検索しても構いませんが、その場合、内容が関係していても書名にその語が入っていなければヒットしません。キーワード検索の場合は、書名だけでなく、その本の主題・著者名なども検索の対象になるので、ヒット件数が多くなります。それでは、「茶道のわび・さびについて」というテーマで検索してみましょう。

キーワードの設定

検索の決め手は、なんといっても「キーワードを何にするか」にかかってきます。**キーワードは、1通り、2通りではなく何通りも試してください。** さあ、あなたはどんなキーワードを入れますか?表を見てください。同じ言葉でも入力のしかたによってヒット件数が違いますね。「禅」というキーワードを使ったのは、茶道と禅には密接なかかわりがあり、わび・さびの心とも切り離せないものがあるからです。

図書館引き出し帳

キーワード	ヒット件数	キーワード	ヒット件数	キーワード	ヒット件数
ワビ△サビ	1	茶	25	禅△茶	1
ワビ	9	cha	80	ゼン△サドウ	0
wabi	10	サドウ	32	ゼン△チャドウ	4
サビ	16	チャドウ	129	禅△茶道	2
sabi	17	茶道	111	チャ△ココロ	4
チャ	81	ゼン△チャ	8	茶△心	0

*△はスペースを示す。1文字あけて、必ずスペースキーを押す。
 *基本的にカタカナとひらかな、半角と全角は同じヒット件数です。

この他にも、「千利休」や「数奇」などもキーワードに使えるでしょう。知識と勘を駆使して、様々なキーワードで検索するのがコツです。

検索の際の注意 マニュアルにも検索の際の注意が載っていますが、他にも何点かあります。

- 同音異義語の多い言葉は、漢字で検索すると目的のものに絞込める。(但し、異字体や旧漢字を使用しているとヒットしないことがあるので注意)
- 一般的に、カナ(=読み)で入力するほうがヒット件数が多いが、読み方によってヒットしないことや、漢字のほうがヒットしやすいこともある。(茶道、サドウ、チャドウ参照)
- 検索画面には、キーワード・書名・出版年など入力項目がいくつかありますが、その全てに入力する必要はありません。入力した項目のうち、どれかひとつでも入力ミスや機械の約束ごとに合わないものがあるとヒットしません。
- 逆に、同じようなタイトルが多そうな場合は、複数の項目にまたがって入力すると効率がアップします。(源氏物語で講談社版のもの、etc.)
- 出版者名はローマ字のみ、カナのみではヒットしません。漢字も交えて正式名で検索してください。(例：岩波書店=○、イワナミショテン、IWANAMI SHOTEN=×)

IV. 検索結果の見方

ヒット件数は何件でしたか？ 2件以上あった場合は **簡略表示** を、1件のみの場合は **詳細表示** を見てください。

簡略表示

OPAC 簡略表示 ヒット件数 8件

1. 論集アジアの食事文化／石毛直道編

〈配架〉 1：白山開架 2：工学部開架

⋮

①

この画面では、書名／著者名、配架先キャンパス名のみが表示されます。その館のどの場所にあるか、書誌や貸出状況などを見るには次の詳細表示画面にします。

図書館引き出し帳

詳細表示

OPAC	詳細表示 (図書)	5 / 8
書名/著者 : 禅の茶・禅の書/古田紹欽著 出版: 東京: 春秋社 1959 形態: 208p 図版; 19cm ① 配架=白山電動 ② 請求番号=188.8 : FS : 5 登録番号: 2101309900 (書架にあり) ③		

- ①配架……本のある場所のことです。
各館の名称の後に「開架」「電動」「参考」「逐刊」などがあります。
館内の地図で確認するか、係に尋ねるかしてください。
- ②請求記号……本の背表紙に貼られているラベル（もしくは雑誌の表紙）に書いてある番号のことです。
①の配架場所とこの請求番号によって本を探します。原則としてこの番号順に本が並んでいます。雑誌の場合ここが「Z」や「P」だけのものがあります。これを「未分類」と呼んでいます。その横に「BOX= (アルファベット)- (数字)」とあるのは、雑誌専用の展示架にあることを示します。
- ③書架にあり……館外貸出中ではありません。書架にない場合に考えられるのは、(1)館内で閲覧中(2)本が違う場所に紛れ込んでいる(3)近くのブックトラック（本棚の近くに置いてあるワゴンの様なもの）の上にある……などです。
- * 貸出中 (199○/○/○) ……館外貸出中です。後の日付は返却期限日です。予約をする場合はカウンターで手続きをします。予約をする場合は詳細表示の画面を印刷したものを持ってきてください。

詳細表示の有効利用 この詳細表示は単に本の詳細を見るだけでなく、画面を印刷したものを有効利用することもできます。例えば……

- ★レポートの「参考文献」を書くときの参考にする。
- ★感想を書き込んでファイルしておけば、自分の読書記録になる。
- ★同じく、ファイルして「研究記録」として利用する。etc...

本を探し出したら「ポイ」と捨てるだけでなく、是非役立ててください。

V. こんなときどうすればいいの？

キー操作を受け付けない → 画面下を見てください。緑色の文字の部分です。

XPRビジー オンラインレディ 英数 英数0 LAN

この「XPRビジー」になっている時はキーボード手前左の **ctrl** を押しながら、**U** キーを押します。

画面を印刷したい

→ キーボード手前左の **ctrl** のキーを押しながら、**P_せ** (プリントの「P」ですね) を押します。

書名や著者名があいまいなだけで… → マニュアルP.7-7「前方一致検索」をしてください。

ドイツ語やロシア語はどうやって入力するの？

→ ドイツ語のウムラウトやフランス語のアクセント記号等は、はずして入力します。ü→u â→a ñ→n
ロシア語の様にアルファベットでないものはアルファベットになおして入力します。Правла→Pravda



カウンター発 9 時

新しい年に変わり、「今年こそ・・・しよう!」と思われているひともいるのではないのでしょうか。何をするにも下準備が必要です。図書館でいろいろ研究し、よい一年になるよう頑張りましょう。

さて 朝霞分館では、昨年館内の書架移設等があり皆さんにご迷惑おかけいたしました。配架場所が変わった図書もありますので、わからないことがありましたらカウンターまで遠慮なくおたずねください。

今年もまた朝霞分館を上手に利用してください。

I 視聴覚が変わった!

- ①視聴覚資料の館内・館外の貸出しが機械化され、面倒な記入手続きがなくなりました
- ②館外貸出が3点から、5点に増えました
- ③資料を3階から2階へ移設したので、より利用しやすく便利になりました
- ④個人視聴覚室の利用時間が延長になりました。

月・火・木・金曜日	16:30 → 17:45	
水曜日	16:30 → 16:45	
土曜日	12:30 → 15:30	

見たい、聞きたい資料と、
学生証を持って2階
カウンターへ行きましょう!

II CD-ROMが増えた!

「コスモス」NO.116 (1997年冬号) 以降

「中国富力」(総研・中国国家统计局編集)	1997
「判例マスター」(新日本法規)	1996
「NHKできごと」(NHK情報ネットワーク)	1994
「日本文化を英語で語ろう」(NHKサービスセンター)	1996
「季刊書誌ナビ」(メディア・リサーチ・センター)	1970-1997
「彩BISC: 埼玉県立図書館合同蔵書目録」	図書館創立-1992.3受入分
「Statistical abstract of The United States」	1995
「Statistical yearbook」(United Nations)	1995
「World debt tables」(World Bank)	1996
「Wistat women's indicators and statistics」(United Nations)	1994

ひとくちメモ

利用頻度の高いCD-ROM: 「朝日新聞」「日本経済新聞」「日経産業・金融・流通新聞」
「J-BISC」「雑誌記事索引」

III 雑誌も増えた!

新規受入雑誌(平成9年度) → 「日経流通新聞」「Foresight」「週刊金曜日」「Quark」

ひとくちメモ

利用頻度の高い雑誌: 「日経ビジネス」「Newsweek日本版」「受験ジャーナル」
「週刊東洋経済」「週刊ダイヤモンド」「AERA」「ジュリスト」「国文学」

IV “ASAKA CAMPUS LIBRARY INFORMATION” が発行された!

視聴覚ホールの催物情報を主に載せていた“ASAKA LIBRARY Audio-Visual News”を改題し、内容も一新し、幅広い情報提供へと変わりました。

図書館アラカルト LIBRARY CALENDAR (白山・朝霞・工学部・板倉)

※詳細は各館にお問い合わせください。

	1 月					2 月					3 月			
	白山	朝霞	工学部	板倉		白山	朝霞	工学部	板倉		白山	朝霞	工学部	板倉
1 日	×	×	×	×	1 日	×	×	×	×	1 日	×	×	×	×
2 日	×	×	×	×	2 日	↓	↓	×	↓	2 日	↓	×	↓	↓
3 日	×	×	×	×	3 日	↓	↓	↓	↓	3 日	×	×	↓	↓
4 日	×	×	×	×	4 日	↓	↓	↓	↓	4 日	×	×	↓	↓
5 日	×	×	×	×	5 日	×	↓	↓	↓	5 日	×	×	↓	↓
6 日	×	×	×	×	6 日	×	×	↓	↓	6 日	×	×	↓	↓
7 日	×	×	×	×	7 日	×	×	↓	↓	7 日	×	×	↓	↓
8 日	↓	↓	↓	↓	8 日	×	×	×	×	8 日	×	×	×	×
9 日	↓	↓	↓	↓	9 日	×	×	×	×	9 日	×	×	↓	↓
10 日	↓	↓	↓	↓	10 日	×	×	×	×	10 日	×	×	↓	↓
11 日	↓	↓	×	×	11 日	×	×	×	×	11 日	×	×	↓	↓
12 日	↓	↓	↓	↓	12 日	×	×	×	×	12 日	×	×	↓	↓
13 日	↓	↓	↓	↓	13 日	×	×	×	×	13 日	×	×	↓	↓
14 日	↓	↓	↓	↓	14 日	×	×	×	×	14 日	×	×	↓	↓
15 日	↓	↓	×	×	15 日	×	×	×	×	15 日	×	×	×	×
16 日	↓	↓	×	↓	16 日	×	×	×	×	16 日	×	×	↓	↓
17 日	↓	↓	×	↓	17 日	×	×	×	×	17 日	×	×	↓	↓
18 日	↓	↓	×	×	18 日	×	×	×	×	18 日	×	×	↓	↓
19 日	↓	↓	↓	↓	19 日	×	×	×	×	19 日	×	×	↓	↓
20 日	↓	↓	↓	↓	20 日	×	×	×	×	20 日	×	×	↓	↓
21 日	↓	↓	×	×	21 日	×	×	×	×	21 日	×	×	×	×
22 日	↓	↓	↓	↓	22 日	×	×	×	×	22 日	×	×	×	×
23 日	↓	↓	↓	↓	23 日	×	×	×	×	23 日	×	×	×	×
24 日	↓	↓	↓	↓	24 日	×	×	×	×	24 日	×	×	×	×
25 日	×	×	×	×	25 日	×	×	×	×	25 日	×	×	×	×
26 日	↓	↓	↓	↓	26 日	×	×	×	×	26 日	×	×	×	×
27 日	↓	↓	↓	↓	27 日	×	×	×	×	27 日	×	×	×	×
28 日	↓	↓	↓	↓	28 日	×	×	×	×	28 日	×	×	×	×
29 日	↓	↓	↓	↓	29 日	×	×	×	×	29 日	×	×	×	×
30 日	↓	↓	↓	↓	30 日	×	×	×	×	30 日	×	×	×	×
31 日	↓	↓	↓	↓	31 日	×	×	×	×	31 日	×	×	×	×

× = 休館

〈白山(03-3945-7325)〉

通常開館時間
平日 9:00~21:30
土 9:00~20:00
春季休暇中の開館時間
(2/2月含む)
平日 10:00~17:00
土 10:00~12:30

休日開館日
1/11(日)15(祝)18(日)
開館時間10:00~18:00
春休み貸出 1/27(火)~
返却期限日 4/14(火)
*卒業・終了予定者は、
3/20(金)まで
(雑誌は除く)
教職員・校友は通常通りの貸出です

〈朝霞(048-468-6329)〉

1月中開館時間
平日 9:00~19:15
土 9:00~16:45
春季休暇中開館時間
平日 9:00~17:00
土 9:00~13:00

休日開館日
1/11(日)15(祝)18(日)
開館時間10:00~17:45
春休み貸出 1/19(月)~
返却期限日 4/15(火)
*卒業・終了予定者は、
3/20(金)まで
図書貸出冊数 5冊
視聴覚資料貸出点数 5点
(雑誌は除く)

〈工学部(0492-39-1321)〉

〈建築資料室(0492-39-1432)〉
通常開館時間
平日 9:00~18:00
土 9:00~16:00
1/12~1/29開館時間
平日 9:00~19:00
土 9:00~17:00
春季休暇中開館時間
平日 9:00~17:00
土 9:00~13:00

休日開館日
1/15(祝)25(日)
開館時間10:00~16:00
春休み貸出 1/30(金)~
返却期限日 4/8(水)
*卒業・終了予定者は、3/13(金)まで
*雑誌・AV資料は通常通り貸出
*2/6(金)~4/6(月) 視聴覚室閉室

〈板倉(0276-82-9060)〉

1/8(木)~1/17(土)開館時間
平日 9:30~17:50
土 10:00~15:00
1/19(月)~2/5(木)開館時間
平日 9:30~18:50
土 10:00~16:00
春季休暇中開館時間
平日 9:30~17:50
土 10:00~13:00

春休み貸出 1/29(木)~
返却期限日 4/10(金)
(雑誌は除く)